

# 令和2年矢巾町議会定例会3月会議

## 代表質問会派・議員と質問事項一覧表

番号	質問会派・議員	質問事項	答弁者
1	町民の会 6番 廣田清実	1. 令和2年度町長施政方針について	町長
		2. 令和2年度教育行政方針について	教育長
2	一心会 16番 廣田光男	1. 令和2年度施政方針と令和2年度一般会計予算について	町長
		2. 農業の現状と農政課題について	町長
3	矢巾明進会 5番 村松信一	1. 行政運営について	町長
		2. 本町の学校教育について	教育長
		3. 矢巾町環境基本条例の制定について	町長
計	3会派・3名 7件	【代表質問実施日】 令和2年3月3日（火）午前10時	町長 5件 教育長 2件

# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>1</u>	令和2年2月21日	午前・ <del>午後</del> 9 時30分
議席番号 <u>6</u> 番	町民の会 廣田清実	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 令和2年度町長施政方針について (答弁者) 町長</p> <p>令和2年2月19日の施政方針を受け、下記について問う。</p> <p>『健やかな生活を守るまちづくり』について</p> <p>① 国の認知症施策推進大綱が策定され、本町においても、「共生」「予防」を行うためチームオレンジ拠点施設を整備するとあるが、どのような活動を支援する施設か問う。</p> <p>② 第7期介護保険事業計画の検証時期について問う。</p> <p>③ 地域福祉の充実において町社会福祉協議会と一体となるとあるが、具体的にどのように連携し、どのように相談支援体制の充実を図っていくのか問う。</p> <p>④ 町民の健康づくりと健康寿命の延伸を目指す取り組みの1つに、メディカルフィットネス施設を拠点としてとある。町公民館や地域の公民館で行われている教室も重要と考えられるが、メディカルフィットネス事業と連携する施策はないか問う。</p> <p>『時代を拓き次代につながるひとづくり』について</p> <p>① 生涯学習の充実について、学習内容を町民同士が共有し成果を実感できる事業を展開するとあるが、具体的にどのような事業か問う。</p> <p>② 競技スポーツの推進について、さらなる競技力向上のため、具体的にどのような事業に取り組むのか問う。</p>

『利便性と発展性を高めるまちづくり』について

- ① 矢巾中学校跡地について民間業者等から意見を聞くとあるが、検討委員会との関連性を問う。
- ② 広域的な地域連携を支える道路ネットワークの強化は必要であると認識しているが、地域からの要望が多い生活道路の整備をどのように進めていくのか問う。

『快適性と安全性を高めるまちづくり』について

- ① 町営住宅の整備について住宅マスタープランの方針に沿ってとあるが、なかなか具体的な内容が見えてこない。町営住宅の方向性について、今後の計画、タイムスケジュールを問う。

『豊かな生活環境を守るまちづくり』について

- ① ごみの減量化について、岩手医科大学附属病院の開院に伴い、ごみとして紙おむつが大量に出ることが見込まれる。紙おむつの資源化について、町の考えを問う。

質問 2

(質問事項) 令和2年度教育行政方針について  
(答 弁 者) 教育長

令和2年2月19日の教育行政方針を受け、下記について問う。

- ① 学校給食共同調理場の民営化を検討するとあるが、給食は成長期の子どもたちの身体づくりに大切であると認識している。給食の大切さを考えた場合、整合性が取れていないと思われるが、今後の給食のあり方を問う。
- ② 病児保育事業について、企業型保育所への拡大を考えていないか問う。
- ③ 町内の小中学校には、現在路線バスが通っていないところが多い。冬期間における中学校では、自転車通学ができなく保護者の負担が大きいと聞いている。スクールバスの導入について、冬期間だけでも早期に実施できないか問う。
- ④ 児童生徒の学力向上について、自ら学習する習慣を身に付けることが大切であると考えるが、そのための施策はないか問う。

# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>2</u>	令和2年2月21日	午前・ <del>午後</del> 11時15分
議席番号 <u>16番</u>	一心会	廣田光男

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 令和2年度施政方針と令和2年度一般会計予算について (答弁者) 町長</p> <p>令和2年度施政方針は、第7次総合計画後期基本計画の始まりと位置付け、基本理念であります「希望と誇りと活力にあふれ躍動する町やはば」の実現、そして新時代の意味に込められた願いの実現に向け矢巾町の先頭に立って町政を進めていくとあり、そこにはウェルネス、セーフティー、ダイバーシティやSDGsの施策に精力的に取り組んでいくとあります。そこで、次の点について質問します。</p> <p>① 第7次総合計画の施策の大綱に掲げた7つのまちづくりについての具体的な取り組みを述べておりますが、具体的な取り組みについては、基本計画の内容を総花的に数字ではなく文言で表現されただけで信ぴょう性に向け、特に重点的に取り組む政策の特徴が必ずしも示されていないことや、来年度の大きな改革である機構改革についての思いや記述が割愛されているが所見を伺う。</p> <p>② 昨年までの施政方針の中では、地方創生として地域おこし協力隊の活動支援やウェルネスタウンプロジェクト及びローカルブランディング事業があったが、事業展開の中での今後の見通しと展望を伺う。</p> <p>③ 利便性と発展性を高めるまちづくりについて、国土利用計画や都市計画マスタープランにおける市街化区域、市街</p>

	<p>化調整区域の地区計画及び矢巾スマートインターチェンジを核とした今後の開発計画の見通しを伺う。</p> <p>④ 地域コミュニティの活性化についてのあり方について議論を深めるとあるが、今でもたくさんの事業メニューがある中でどの事業を特に優先して議論の対象としていくのかその方向性を伺う。</p> <p>⑤ 令和2年度予算について、例年示される主な施策の概要が示されず、町長の意図する予算編成方針がまとまりにかける気がします、予算編成方針があればお示し頂きたい。また、財政運営の基本である入りを量りて出を制すと古事にあるが、特に歳入の見込みについての具体的考え、特に自主財源である住民税、固定資産税の見通しと展望を伺う。</p> <p>⑥ 町政の課題である財政問題について、予算への反映について具体策があればその所見を伺う。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) 農業の現状と農政課題について (答弁者) 町長</p> <p>政府は平成26年農政改革の全体構想となる農林水産業・地域の活力創生プランにおいて、農業・農村全体の所得倍増を大きな目標に掲げ需要拡大や生産コスト削減に加え、農協等組織の見直しにも新たに着手するという方針を打ち出しているが、その後の取り組みについて本町ではどのような議論がなされ、現状はどうなっているか伺う。</p> <p>① 需要の拡大について、地産地消による学校給食費の国産割合目標を2015年までに80%、6次産業化ファンドの積極的活用をすとしてしているが具体策を伺う。また、町民が地産・地消を踏まえた農畜産物農家への支援策を強化していくべきと考えるが、取り組み状況はどうなっていくのか伺う。</p> <p>② コスト削減政策については、農地中間管理機構による農地集約化はコストダウンに繋がるとし、農地面積の8割を</p>

占めるようにし集約化と合わせ資材・流通面での産業界の努力も反映し、担い手のコメ生産のコストを4割削減としているが、本町の現状はどうか。また、経営安定対策の見直しをするとし、主食用コメの需要減で将来的不作付け地が増えることへの対策について伺う。

- ③ 農業所得の向上のためには農協や農業委員会などの現場で農業者を支える組織の機能強化に取り組むとしているが、単位農協については農畜産物の有利販売と生産資材の有利調達に最重点を置いて取り組むべきとしているが、その後の戦略はどうか。特に生産資材については、全農・経済連と他の調達先を徹底的に比較して有利なところから調達するべきとしているが、現状はどのような支援策を行っているか伺う。
- ④ 行政と農協の役割と守備範囲が明確でないことから、農協で指導推進する農政の指標が見えないことから、今後の農協運営について特に行政の二重化ともいえる農協の採算性と農家の関係構築をどうしていく考えか伺う。

# 代表質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 3	令和2年2月21日	<del>午前</del> ・午後 3 時00分
議席番号 5 番	矢巾明進会	村松信一

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 行政運営について (答弁者) 町長</p> <p>① 農業政策について、地域再生法の一部を改正する法律により農村地域等への移住を促進するため、「農地付き空き家」等の取得、原則50アールとなっている下限面積要件の引き下げ手続き、市街化調整区域内で厳格に運用されている空き家の取得等の許可を円滑化する事業が創設されました。この法律改正に伴い、市街化調整区域における空き家対策について、町ではどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 本町農業の将来を担う農事組合法人等のほとんどが高齢化しているが、こうした「農業生産法人」の実態と今後の推進策について伺う。</p> <p>③ 町長は公約として地域防災力の向上を掲げ、消防団や自主防災組織への支援強化や医大・県消防学校との連携による医療・防災拠点の充実を図るとしている。また、近年、救急車の出動回数が増加していることから、矢巾分署員の増員が必要と考えるがどうか。</p> <p>④ 第7次総合計画後期基本計画において、中小企業の振興のために中小企業基本条例を策定するとしている。条例策定によって、中小企業の経営や雇用に対し、どのような効果を想定しているか。</p> <p>⑤ 高齢者支援のさらなる充実のため、新たに生活支援コーディネーターを選任し、ニーズと地域資源を的確に把握し</p>



	<p>て高齢者を支えるネットワークをつくる地域包括ケアシステムを構築するとあるが、具体的な内容を伺う。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 本町の学校教育について (答 弁 者) 教育長</p> <p>グローバル化や人口知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代には、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動し、より良い社会や人生を切り開いていく人が求められるようになっていきます。学校生活を通じて「生きる力」を育むよう学習指導要領が改正されますが、本町の学校運営全般について以下伺います。</p> <p>① 新しい時代に必要となる資質・能力の育成のため、小学校の新学習指導要領に即した取り組みとして検討された内容は何か伺う。</p> <p>② コミュニティ・スクールについて、メリットもあればデメリットもあると考える。熟慮の上で決定されたと思われるが、導入に至るまでの経過について伺う。</p> <p>③ 小学校の新学習指導要領では、3年生から6年生までの授業時間を年間35時間（週1コマ）増加としております。子どもの負担軽減や午後の教職員の執務時間確保等の効果等を考慮し、全国に広まりつつある「午前5時間制授業」の導入について、本町の考えを伺う。</p> <p>④ 教育委員会事務事業点検評価報告書において評価の結果を公表しているが、評価をどのように捉え、現在どのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>⑤ 倫理意識の確立・豊かな心の育成のため、平成31年から導入された道徳教育の結果はどうであったか。また、生徒指導上の変化はあるか伺う。</p> <p>⑥ いじめ問題への対応について、楽しい学校生活を送るためとしてアンケートを実施しているが、学級集団の状況把握と分析をどのように行い、いじめ問題の対応に活かしているのか伺う。</p>

- ⑦ 学校給食共同調理場と煙山保育園の民営化について、持続可能な運営形態の在り方として理解できるが、民営化するその他の理由はあるか。また学校給食の公会計制度を採用する事について、今後どのような手続きを経ていつから導入するか。
- ⑧ スクールバスを検討しているが、対象とする地域と利用条件の考え方を伺う。
- ⑨ 人口3万人構想に向けて、市街地の変化による学区の見直しや、フューチャーデザインの考えによる小学校の統廃合を検討する組織が必要であると思われるが、町の考えを伺う。

質問 3

(質問事項) 矢巾町環境基本条例の制定について

(答弁者) 町 長

私たちの住む矢巾町は、南昌山や矢巾温泉郷、県営煙山森林公園等を含む町立自然公園一帯や、貴重な野生生物等の生息地であり、優れた風景地としての価値を有する自然に恵まれた地域であります。

近年、資源やエネルギーを多く消費する社会経済活動は生活する者に物質的な豊かさをもたらしましたが、その反面、自然へ悪影響を及ぼし地域の環境や地球環境を脅かしています。

このような状況の下、本町では第7次総合計画後期基本計画において、循環型社会の形成、環境保全と環境美化を推進し、環境衛生を取り上げたりSDGs等の学習機会を増やしたりすることにより、新エネルギー活用の重要性について認識を深めるとあります。

また、町長は政策として、ごみの減量化や省エネ対策等環境健全化の推進を掲げ、未来に向け持続可能な社会を作るため、限られた資源の有効活用を積極的に推進するとしております。さらには、岩手県交通による岩手医科大学周辺の環境に配慮した電気バスの運行を計画する等、環境保全への機運が高まってきております。

持続可能な循環型社会の構築、そして経済の発展に向けて、本町の環境政策の基本的な考え方を包括的に示し、町と町民、事業者それぞれの役割を明確にしながら協働で推進する「矢巾町環境基本条例」を制定すべきと考えるが、このことについて町の考えを伺います。